

十勝4校が連合

6月24日から行われた夏の高校野球で、幕別高校を含めた4校の連合チーム「足士新幕（あしししんまく）連合」が全国を通じて初めて出場しました。

今夏から、統合を控えた学校による連合チームに限らず、部員不足で公式戦に出場できない学校同士の連合チームの出場も認められたため、足寄・土幌・新得・幕別の4校による連合チームが実現しました。

5月下旬から週末を中心に合同練習や練習試合をこなし、夏の大会に向けて準備を進めていきました。

「本当に幸せでした」

6月26日、帯広南商業高校との1時間43分の試合は、9点差で迎えた七回二死一、二塁。幕別高校の半澤胤馬選手（3年生）が三振に倒れ、0対9のスコアド負けを喫し、健闘むなしく初陣を飾ることは、叶いませんでした。

最後のバッターとなった半澤選手は「3年間、一生懸命やってきて本当によかった。0対9

夏の高校野球

力を合わせた4校の夏

部員不足による学校同士の連合チーム出場が認められた今年の夏の高校野球。全国で初めてとなる4校の連合チーム「足士新幕（あしししんまく）連合」として出場した幕別高校野球部取材しました。

で負けたが、心に残る試合となった。本当に幸せでした」と公式戦をプレーできた喜びをかみしめていました。

公式戦の1勝目指し

夏の大会から約1カ月、1・2年生による新チームは、すでに動き出していました。

新チームの中心選手としてチームをまとめている幕別高校の斉藤博美選手は「秋の大会で一勝できることを目標に、一丸となって練習に励んでいる。絶対に勝ちます。」と秋の大会へ向けて抱負を語りました。

3年生が果たせなかった「公式戦の1勝」を秋の大会の目標に一生懸命練習に取り組む姿がありました。



▲試合前に士気を上げる選手たち



▲各校から集まった約300人の混成応援団



▲試合後のインタビューに応える半澤胤馬選手（幕別高3年・右）と松川直樹選手（幕別高2年・左）

